



子どもたちは立派にお点前を披露

2 9回 茶道で学ぶ 心の美

2月3日・9日・17日の3日間、池ノ原会館で子ども茶会を開催し、市内の小中学生による児童生徒文化体験教室(表千家茶の湯教室・なかよし茶道教室・おせん茶教室・みんなの茶道教室)の受講生77名が、毎月真剣にけいこに取り組んでいる成果を披露しました。子どもたちは、訪れた保護者や一般客らを相手に、姿勢を正して丁寧に抹茶・せん茶出しなどを行いました。訪れた人たちは、かわいらしさと、その完成度の高さに驚いていました。



優勝カップ、賞状を手に喜ぶメンバー

1 18回 強い!速い! われらの消防署員

愛知県・岐阜県・三重県にまたがる国営木曽三川公園で、愛知県消防学校校友会体力錬成競技会(駅伝大会)が開催されました。今年で23回目を迎えたこの大会には、県内34消防本部から48チームが参加。22.1kmを競い合い、田原市消防本部チームは、見事2年連続の優勝を果たしました。わがまちの頼もしい消防署員は、この大会の半分以上を優勝しています(通算12回)。【田原市メンバー】鈴木克彦、内藤節男、松本孝章、林拓男、渡辺孝充 / 敬称略



冷たい風にも負けず元気良く走る参加者

2 10回 参加でふれあい 走って健康

田原市陸上協会が主催する田原健康ふれあいジョギング大会が、白谷海浜公園で開催されました。これは、体力づくりと相互のふれあいを目的に毎年行われているもので、今年で16回目。小学生から一般まで約400人が参加し、0.8km~5kmの各部門に分かれ、熱いレースを繰り広げました。また、最後に行われた自由参加の「健康ジョギング・ウォーキングの部」では、観戦に訪れた家族らも参加し、約1000人みんなでいい汗を流しました。



めずらしい雪に子どもたちは大喜び

2 9回 設楽町から 白く冷たい贈りもの

サンテパークたはらで雪まつりを開催し、多くの家族連れでにぎわいました。これは、田原市の姉妹都市である設楽町津具から雪を運び、田原市の子どもたちに雪遊びを楽しんでもらおうと、平成13年から行われているものです。昨年は暖冬のため中止となっただけに、子どもたちは待ちに待った雪山に大興奮。お父さん、お母さんと雪だるまを作ったり、雪合戦をしたりするなど、時間を忘れて夢中で遊んでいました。